

成田の将来と日本の未来を見据えて撃つ！
そんなあなたにホットな話題をお送りする
最先端オピニオン紙

成田シティージャーナル

発行: ネットハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡 1958

TEL 0476-24-6777 FAX 0476-24-6778

<http://www.naritacity.com>

成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、八千代市、四街道市、海浜市、栄町、小林、安食、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町

発行部数: 275,000部

Part.I

生と死 苦難を乗り越えて生きる！

病気と貧困の現場で「生きる」ために闘っている人々から学ぶ

人は、ある日尊い命を授かり、物心がついた時から日々を楽しむことを知り、時には苦しみ、悲しみながらも、肉体は老いていき、いつしか息が絶える日を迎えます。死は生きている者の定めです。多くの人は病気や事故で命を落とし、時には自ら命を絶ってしまう人もいます。老衰による安らかな死など、もはや夢の時代かもしれません。せつかく与えられた一度しかない人生なので、この命を大切にしてい有意義な日々を過ごしたいものです。

ところがこの尊い「命」をないがしろにした殺人や暴行事件、いじめ等の問題が後を絶ちません。また自殺者の増加にも目を疑うばかりです。命が軽んじられる時代の到来とでも言うべきでしょうか。本来ならば、生きているだけでも感謝であり、ましてや今日の平和な日本社会にて生まれ育った人なら、世界中の人から羨ましがられる位、その生活環境は恵まれているのです。今の社会、何かが狂っています。今一度、生命の尊厳、生きることの大切さを考え直すではありませんか。そこでまず、生きるために一生懸命闘っている人たちに目を向けてみました…。

悲劇に遭遇し生きる為に闘う6歳の少年

11月にアメリカで行われる感謝祭は、日本の新年と同じ位、1年の内で最も重要な祭日です。親族が集まり、七面鳥ディナーと一緒に食べながら、楽しいひと時を過ごす大切な連休なのです。感謝祭の発端は、ヨーロッパから迫害を逃れて米国へ移住してきた移民が、この新天地で食物に与る恵みを神様に感謝したことにあります。その七面鳥の恵みから10余年遠ざかっていた筆者も、2006年の感謝祭は久々に、親友のマイケルとロスアンジェルスで過ごすことにしました。11月25日、マイケルと一緒に彼の家に向かい、やっとサンクス・ギビングディナーにありつけると期待を膨らませて、駐車場に車を止めたその

時、マイケルの携帯電話が鳴り響いたのです。

電話を取るやいなや「Oh, no!」、「Oh, God!」と声を詰まらせたマイケルの悲痛な叫びに、ただならぬ事件が起きたことを知りました。実際、信じられないことが起きたのです。彼には6歳になるイーサンという息子がおり、別居中の母親が彼の面倒を見ています。父親でありながら、一週間に一度しか会うことが許されない米国の厳しい裁判所による調停のルールに従って、長年マイケルは自分の子供と週末だけは一緒に過ごしながら、父親としての役割を果たしてきました。

そのイーサンはこの感謝祭の休日を機に、母親と一緒に親族を訪ねてテネシー州へ出かけました。そこで思わぬ悲劇が起きたのです。その日、道路沿いの隣家では76歳になるおじいちゃんが焚き火をしていました。そしてちょっと火が小さくなったので、もっと大きな火を熾そうと、いつも通りガソリンをぶっかけたその時…たまたま子犬を追いかけてながら元気良く走ってきて、焚火の後ろ側を通り抜けようとしたイーサンの体中に、大量のガソリンがかかってしまったのです。一瞬にして炎が大きく燃え上がり、イーサンも犬も火達磨となってしまいました。しかも、その場で倒れて転がれば、おじいちゃんでも火を消し止めることができたのに、最悪にもイーサンは熱さの余り、悲鳴をあげながら火達磨のまま駆け出してしまったのです。その為、隣家から出てきた人がイーサンに追いつくまでに時間がかかりすぎ、その間に首から胸、腹、背中、足の付け根まで焼け爛れてしまったのです。

イーサンはすぐに救急車で病院へ運ばれましたが、意識不明の重体。骨にまで達する重度の火傷を全身に負い、近場の病院からヘリコプターで総合病院に運ばれ、皮膚の移植をする手術が行われました。この原稿を書いている時点で、2度目の手術が準備されており、イーサ

ンはレスピレーターをつけながら、生死をさまよっているのです。病院での皮膚移植治療が効を奏し、細菌に侵されることなく、新しい皮膚を体が受け入れてくれることを祈るしかありません。大きな火傷には大変な痛みと苦しみを伴うだけでなく、その後遺症に一生、悩まされることになります。でもイーサンは必死に生きようとしていることは間違いありません。イーサン、生きるんだ!頑張り!!

生きる為に闘うバングラデシュ

事故や病気もさることながら、貧困の現場でも必死に生きようとしている人々が世界中に存在します。1990年、老朽化したバングラデシュのダッカ国際空港に到着したとたん、空港が停電に見舞われました。世界の最貧国ですから当然、電力の供給も追いついてないのは理解できますが、まさか空港までが停電とは…。月の光をたよりに建物から一歩出ると、突然、数えきれない程大勢の子供達の物乞いで差し伸べる手に囲まれてしまいました。それまでフィリピンやインドネシアの貧しい地域に何度も出向いたことはありますが、この空港で物乞いする子供の数は半端ではありませんでした。どうすることもできず、付き添いの人に手を引っ張られ、見て見ぬふりをするのが精一杯…。

翌朝、街中を人力車に乗せられて見分すると、どこもかしこも歩く人と人力3輪車で溢れ返っており、想像以上の大混雑。また道端には豚の死骸がごろごろ、無数のハエが周囲を飛び交うだけでなく、その悪臭もひどいものでした。そして町外れの線路沿いでは難民キャンプの様なテントが無数に張られ、大勢の人々が極度の貧困に直面していたのです。子供を抱いて座っている痩せこけた母親、裸のまま泣きながら歩いている赤ん坊、ただボーっと座っている老人、そのあまりの人の多さに、自分の無力を痛感したひと時でした。

そんな貧困を極めたバングラデシュの街でも、人々の魂は輝いているように思えました。誰も死にたくない、と思うからでしょうか、どんなに貧しくても皆、生きるために必死に闘っていたのです。「生きることに一生懸命なのだ!」。バングラデシュ人の姿を見つめながら、彼らから、生きることの大切さを教えてもらったような気がします。

生きるために必死に学ぶマニラの庶民

発展途上国を訪ねる度に、奉仕する側の方が学ぶことが多い、ということを感じます。フィリピンのマニラ市近郊にレペリザという地域があります。マニラでも最も貧しいこの地域では、80年代からカトリックのシスター達が集まり、街造りと教育に取り組んでいました。リーダーはシスター・タン。父親はフィリピン政府の大臣を勤める政界の大家ですが、自らはひたすら信仰を貫き、庶民と一緒に住むことを誇りとし、大衆を教えるカリスマ的存在となっていました。

貧困による失望感、犯罪の是正化、そして物乞いを当たり前とするような歪んだメンタリティーの壁を乗り越えて、民衆の心にプライドと生きる喜びを与える為、シスター達の方針は徹底していました。まず、お金は手を出して他人から貰うもの、という乞食の考えを捨てさせ、お金は自分で働いて得るもの、ということを教えました。その為、物を作る技術を習得させ、例えば町中に石鯀や装飾品を作る工場を作り、そこで働くことを教えたのです。こうして自尊心が養われて、自分達の力で新しいことを始めることができる、という意識を植えていったのです。その上で、生活環境を改善する為に、町のいたる所にトイレを作るプロジェクトが始まりました。生活インフラが整わない限り、いつになっても病気に伏す人が後を絶たなかったからです。こうしていつしか街中が活気を取り戻し、人々に笑顔が見られるようになりました。

物乞いをして、働かずにお金を貰う旨みを覚えてしまえば、子供も大人も一生物乞いで終始してしまいます。お金をあげる方も、知らず知らずの内に、彼らが乞食をし続けることに加

担することになるのです。しかし、お金をあげて彼らを乞食として扱うよりも、仕事をするのを教え、働いて収入を得ることの喜びを教える方がよっぽど大切なことだ、ということをフィリピンの友は教えてくれました。

ある時、シスター達と一緒にセブ島まで出向き、道路に子供達を大勢集めて、日本から一緒にきたヘルパーと一緒に焼きそば数百名分を作らせてもらいました。お肉がふんだんに入っているヌードルを皆に食べてもらいたい、という単純な筆者の願望を、シスター達が受け入れて下さったのです。皆と一緒に思う存分汗を流しながら、路上で食事を作らせて頂いた時の充実感は言葉では言い尽くせません。そして住民の暖かいサポートと協力の中、笑顔で生き活きとはしゃいで遊んでいる子供達を見つめながら、ふと、日本の子供達と彼らと比べて、一体どちらが幸せなのだろうか、と考えさせられてしまったことも事実です。

人は飲み食いを楽しむ為に一生懸命生きる!

一人人間は何を喜びとし、何を楽しみ、何の為に生きているのでしょうか?人の一生は、病気や苦しみ、悩み等、色々な問題で一杯です。大事故もあれば、貧困もあり、痛みもあれば、空腹もあります。

ある時、ふと聖書を開いてみると、こんな言葉が目に残りました。「人は食い飲みし、その労苦によって得たもので心を楽しませるより良い事はない。」単純であるだけに、目から鱗でした。つまるところ、人が本当に志すこととは、日々、健康であることを願い、汗を流して働き、食事を「美味い!」と心から感謝の言葉を口にすることだったのです。そして命が与えられている限り、どんな苦境に立たされようとも、ひたすら生きるために闘い、あらゆる困難に打ち勝って前進していく気持ちを持ち続けることが大切ではないでしょうか。必死に生きる発展途上国の人々の姿を思い浮かべながら、生きるために闘っているイーサンの為に祈りながら、生きていることの素晴らしさを実感しています。

(文:中島尚彦)

世界の片隅から

〈第3回〉
道を作りながら走る 井上 健



写真 / 市役所になったショッピングセンター

前回、私がコンボのスケンデライ・セルピツツア市の市長に任命されたところまで書きました。「さあ、今日からあなたはここの市長だ、戦争ですべてを失った6万5千人の住民がいるからしっかり面倒を見るように」とだけ言われて、トヨタのランドクルーザーを一台あてがわれ、たった一人で送り込まれました。もちろん、言葉も文化も習慣もわからないし、知り合いだって一人もいません。とりあえずは地図を片手に、とにかく町まで行ってみました。町といっても中心に道が一本と、その道とバイパス路をつなぐ道がもう一本あるだけで、その道沿いに雑貨を売っている店が数店と一膳飯屋が2軒ほど営業をしていました。

町をぶらぶらしていると若い男が近寄ってきて英語で話しかけてきました。なんでも戦争前は地元の中学校で英語の教師をしていたのだが、

今は失業中なので国連で雇ってられないかとのことでした。話を聞いてみると、戦前・戦中のアルバニア系住民の置かれていた状況がよくわかりました。町外れに家族で住んでいるというので訪ねてみると、屋根が焼け落ち、砲弾によると見られる大きな穴が壁にあいている家に、奥さんと子供それに兄弟の家族など10人近くの人々が生活をしていました。話をしていると地元のことはよく知っているし、性格もよさそうな男だったので、「正式の国連職員として雇うには時間がかかるが、他にすることもないのならとりあえず通訳として私の仕事を手伝ってくれないか」と話しました。これが、私の一人目の現地採用スタッフであるネジャットとの出会いです。

市の行政を立て直すためには、市の職員と市役所が必要です。ところがこれまで職員をしていたセルビア

系の住民は、皆、町から追い出されてしまい一人として残っていませんでしたし、元々の市役所はフランス軍に占拠されていて使えませんでした。しかし、市長である私には、すべての職員を任命・罷免する権限と、個人の所有物でない限り、いかなる建物や設備でも利用できるという絶大な権限が与えられていました。そこで、とりあえずはコンボ解放軍によって任命されたアルバニア系住民の指導者をカウンターパートにして人集めを始めました。また、町を見て回ると中心地にショッピングセンターの残骸が残っていたので、その所有者が個人ではないことを確認したうえで、これを市役所として使うことに決めました。

日本の常識から考えると無茶苦茶なようですが、平和構築の現場の仕事とはこういうものです。あれこれ議論ばかりしては物事が先に進みません。大切なことは結果を出すことです。もちろん、基本的人権の擁護や職務規定の遵守といった、最低限守らなければならないことはありますが、結果を出すためにどのような手段をとるかは、現場の責任者の独創

性にかかっています。国連の仕事でも、開発協力などの場合には何年も前から計画を立て、計画書に沿って一つ一つ着実に事業を実施していきます。ところが人道支援や平和構築の現場では、そんな悠長なことは言っていないで、事態は刻々と変化するし、何もしないということが人命や政治的解決の機会を失うことにつながるからです。とにかく日々直面する問題を解決しながら目標に向けて前進し続けるのです。目的地はかなたに見えています。しかし眼前には道なき荒野が広がっているだけです。道がなければ進めません。だから、われわれは道を作りながら走るのです。



井上 健
(いのうえけん)

PROFILE

1957年東京生まれ。早稲田大学政経学部在学中に400日間世界一周の一人旅をし、国際協力の道に志す。卒業後、イギリスのサセックス大学開発研究所に留学、開発学修士号取得。その後、国際公務員として、ワシントン(世界銀行)、トリニダード・パゴ(国連開発計画)、タイ(国連カンボジア人道支援室)、カンボジア(国連カンボジア暫定統治機構)、ソマリア(国連ソマリア活動、スイスとドイツ(国連ボランティア計画)、コンボ(国連コンボ暫定統治機構)、東京(アジア生産性機構)に勤務し、開発協力、人道支援、平和維持・構築などの職務に就く。また日本政府の要請により、支援委員会検討専門家会議議長代理、国際平和協力人材育成専門家会議委員、アフガニスタン選挙監視検討ミッションアドバイザー、タンザニア国別援助計画評価アドバイザーを務める。好奇心が旺盛で、世界各地を訪ねて、何でも食べ飲み人々と交流することが大好き。これまで訪れた国は80ヶ国余り。毎週必ず何かひとつ生まれてはじめての経験をすることを心がけている。

成田丸メNAVI

第17回

極上の手打ち麺が決めて！
手打ちラーメン『さど』

成田界限で美味しいラーメン屋さんを探している人にとっておきの穴場をご紹介します。下総松崎を越えて、県道を安食の方に1km程進むと、道の右側に「さど」という手打ちラーメンの店があります。まず、最近流行の安価なラーメン店で使われている細めですつるつの麺とは違って、太くて腰があり、しかも滑らかな舌触りの「さすが手打ち」とうなずける極上の麺に注目。日本人はやはりラーメンでも、そば、うどんでも、麺

の腰と歯ごたえを求めます。そんな期待に十分応えてくれる、大変美味しい麺です。この腰のある手打ち麺だからこそ、お勤めのスープはやはり味噌味。またラーメンに不可欠な具も、定番のチャーシューや海苔だけでなく、コーンや野菜炒めも乗って、大変バランスの良い盛り付けになっています。この味噌ラーメンは600円。290円の安い

ラーメンに慣れきってしまった人には高く感じられそうですが、食後の満足感を考えれば、むしろお値打ち価格。実はラーメンの激戦地区、東京の池袋や学生街の高田馬場でも、人気ラーメン店は皆、驚く程高い。人がずらっと並ぶ店はよくよく見ると、その大半が一杯600円から800円。今や本当に味で勝負するラーメン店が流行る時代なのです。

手打ちラーメン「さど」
印旛郡栄町安食2508 ☎0476-95-1981

総合評価 ★★★★★

あなたのPCを停電から守る!!

UPS 無停電電源装置

停電時にもシャットダウンまでの電源を確保する装置
※使用機種によって対応時間は異なります。

格闘的価格 グレードアップ新登場!!

税込特価 **4,980円** から

- 落雷からPCや機材を保護
- 最大20分稼働可能
- 電源管理ソフト付

株式会社サウンドハウス
TEL 0476-22-9333 FAX 0476-22-9334
http://www.soundhouse.co.jp

UPS 500II
税込特価 4,980円
500VA

UPS 500LX
税込特価 6,980円
500VA、LCDディスプレイ搭載

UPS 1200II
税込特価 7,980円
1200VA

UPS 1200LX
税込特価 9,980円
1200VA、LCDディスプレイ搭載

倉庫整理用 中古パレット

無料でさしあげます

数に限りがありますので
お早めに

JR・京成成田駅そば
株式会社サウンドハウス
☎0476-22-9338 (物流部/担当:伊能)

FH感謝祭 北欧家具年末大特価!!

400033 ツォー・ホルムスタム (SCANBRK)
販売価格 32,800円
税込価格 32,800円
幅180cm 奥行440cm 高さ1100mm
重量120kg
2018年12月まで限定価格
アクリル樹脂製・組立式

240703 サイダー・ブル (SCANBRK)
販売価格 2,940円
税込価格 2,780円
幅110cm 奥行500mm 高さ430mm
重量12kg
アクリル樹脂製・組立式

240710 サイダー・ブル (SCANBRK)
販売価格 2,940円
税込価格 2,480円
幅110cm 奥行500mm 高さ430mm
重量12kg
アクリル樹脂製・組立式

240711 サイダー・ブル (SCANBRK)
販売価格 2,940円
税込価格 2,480円
幅110cm 奥行500mm 高さ430mm
重量12kg
アクリル樹脂製・組立式

30095 プリジエン・ア本棚 (SCANBRK)
販売価格 19,800円
税込価格 19,800円
幅180cm 奥行34cm
重量40kg
アクリル樹脂製・組立式

30091 プリジエン・ア本棚 (SCANBRK)
販売価格 8,800円
税込価格 8,800円
幅180cm 奥行34cm 高さ70cm
重量25kg
アクリル樹脂製・組立式

30456 TV台 (SCANBRK)
販売価格 20,400円
税込価格 9,480円
幅100cm 奥行50cm 高さ30cm
重量10kg
アクリル樹脂製・組立式

210603 折り畳み机 (SCANBRK)
販売価格 2,940円
税込価格 2,800円
幅110cm 奥行40cm
重量4kg
アクリル樹脂製・組立式

FG7 リクライニングチェア
販売価格 24,800円
税込価格 24,800円
幅60cm 奥行110cm 高さ105cm
重量15kg
全布張

FG100R リクライニングチェア
販売価格 29,800円
税込価格 29,800円
幅60cm 奥行110cm 高さ105cm
重量15kg
全布張

RC30R リクライニングチェア
販売価格 19,800円
税込価格 19,800円
幅60cm 奥行110cm 高さ105cm
重量15kg
全布張

FG100B リクライニングチェア
販売価格 29,800円
税込価格 29,800円
幅60cm 奥行110cm 高さ105cm
重量15kg
全布張

株式会社 ファニチャーハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ尾1958
http://www.furniturehouse.co.jp
平日10:00~19:00 土曜日12:00~17:00 日曜日
TEL0476-24-5111 FAX0476-24-5112
カタログ無料送付いたします

「ファニチャーハウス」の専任スタッフが
お客様のニーズに合わせて
オーダーメイドします

ファニチャーハウス
ショールーム

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ尾1958

日本語の謎をヘブライ語で解き明かす！

函館の出船音頭と同様に、宮城県にも大漁を念願して祝う大漁祝唄が複数存在します。これらの祝唄には「神の泉」を意味する「エシヤ」(Enshiya)という囃子詞が頻りに用いられていますが、中にはあまり聞き慣れない囃子詞を含む唄もあります。宮城県仙台より南へ10km程離れた所にある名取市を発端として広まった閑上(ゆりあげ)大漁祝唄では、唄の始めから「チョイチョイ」、「アリエエ」、「エノソーリヤ」、「そして「エンヤサ」と、リズムカルな囃子詞が次々と飛び出します。大漁を祝い、人々の食卓を潤すことに感謝を捧げるのが大漁祝唄の主旨ですから、これらの囃子詞にも意味が無いはずはありません。

「チョイ」(choi)は既に解説したとおり、「前進せよ」という意味のヘブライ語です。次に「アリエエ」ですが、これもヘブライ語で同じ発音を持つ「אֱלֹהִים」(Elohim)があり、元来「登る」という意味だったものが、いつしか「イスラエルに移住する」という趣旨で使われるようになりまし。それ故「チョイ、アリエエ」は、「イスラエルに向かって、前進せよ」という意味になるのです。ここで言う「イスラエル」は中近東のイスラエルではなく、新しい約束の地である東の海の島々であり、それが最終的に日本であったということになります。つまり国を失った神の選民が、新天地を捜し求めてアジア大陸を渡り、海を超えて探したてた約束の地が日本だったのです。また「エノソーリヤ」は「人類」を意味するヘブライ語の「אנוש」(Enosh)の語尾に神の「ヤ」が付加されて「人類の神」という意味を持つ言葉となり、「エノソーリヤ」が訛つて「エノソーリヤ」と発音されるようになったと解釈できます。最

後に「エンヤサ」ですが、これも「神の泉」の意である「Enshiya」に、「前進せよ」を意味する「サ」が後尾に追加されたものです。このように、閑上大漁祝唄の囃子詞は、新天地を探求めて海を渡るイスラエルの民が唄った祝唄ではないかと推測できます。イザヤの予言により、東の海の島々に新天地があることを信じた民は、「新しいイスラエル」に向かって前進せよ！「人類の神が共におられる！」「神の泉を目指せ！」と、掛け声をかけながら、約束の地を目指したのでしょう。そして辿り着いた日本は、水産資源に大変恵まれた島々であった為、正に「エンヤサ」、すなわち「神の泉」の国と呼ばれるにふさわしい新天地だったのです。

大漁祝唄に類似した民謡は日本海側でも広まり、宴会での騒ぎ唄で知られる船方節にも興味深い囃子詞が含まれています。例えば酒田船方節の囃子詞は「ハヤッシヨ、マカシヨ」ですが、「ハヤッシヨ」はこれまで解説してきた「見よ」を意味する「ハ」(Ha)と「神の救い」を意味する「ヨイシヨ」という2つの頻りに使われる囃子詞の組み合わせで出来ています。「見よ、神の救いを」の意味を持つ「ハヨイシヨ」は、時間と共に「ハヤッシヨ」に訛つたと考えられます。また「マカシヨ」は「逃げ場」を意味する言葉が語源です。ヘブライ語で隠れ家は人の救いを意味します。それ故、語尾に神の「ヤ」を付加して「マカシヤ」となり、これが訛つて「マカシヨ」となったのでしょう。つまり「ハヤッシヨ、マカシヨ」こそ日本を発見した時の喜びの声なのです。「見よ、神の救いを！神の隠れ家である新天地を」。

文・中島尚彦

日本とユダヤのハーモニー

囃子詞に秘められた謎 【第12章】『大漁祝唄』の囃子詞に秘められた新天地への想い

かもねぎの

COME ON MUSIC!!

58

懐かしくも新しい！
魅惑のラップスチールギター



楽器を手に入れるというのはひとえに縁だなと思います。スチールギターはハワイアンでよく使われており、特に昭和30年代にハワイアン・バンドブームを経験された方には馴染みの深い楽器ではないでしょうか？自分自身、スチールギターには以前から非常に興味があったのですが、いざやろうと思ってもなかなか売ってないし、いいなあと思ったモデルは非常に高価で、気軽にやってみるという代物でもありませんでした。

ところが、ある日突然わが師匠のTAD三浦氏より、EPIPHONE ELECTRAの、しかも7弦のラップスチールを譲っていただけることになったのです。自分で探してもなかなか見つからなかったのだから、これも縁ですよ。しかもこれは戦中のアメリカ製で、かなり珍しい7弦の貴重なモデルのようです。とりあえずOPEN D+Cという変則チューニングを編み出しました。非常に涼しげな音色が独特で、ハワイアンには馴染みがない私もついつい、アロハオエ〜というよりもアロエミナ〜的な未熟なスチールギターを楽しんでいます。スチールギターと一般のギターの決定的な違いは左手。トーンバーといわれる鉄製の棒で演奏します。今までは、指がどれだけ開くか、早く動くかといった練習がメインでしたので、妙な動きに慣れません。しかしこれがとても面白く、まるでエレキギターを弾き始めた中学生のように夢中になっています。最近が高田漣などの台頭により、ペダルスチールやラップスチールが脚光を浴びています。ブルースでラップスチールギターをプレイする人は少ないですが、最近のJ-POPはもちろん、沖縄民謡、ハードロックなどにもマッチするラップスチールギターは、間口が広く、幅広い年齢層に人気がある稀有な楽器なのかも知れません。なんといっても私の年代だと演奏している人が少なく、競争相手がいないのも魅力だったりして。

これからは、スチールギターもがんばります。

来年もよろしくお願いします。



演奏に使われる鉄製のトーンバー

(ギタリスト加茂尚広) 連絡先 0476-24-6777 (ネットハウス)

PLAYPACK SUNBURST
衝撃価格 9,800円

ZF33CE
衝撃価格 49,800円

SBC-HE580
衝撃価格 1,680円

PRIVIA PX-310
衝撃価格 45,500円

ZDS3000
衝撃価格 29,800円

DTI1.8 SET
衝撃価格 45,000円

TRUSS CS
衝撃価格 9,000円

Merry Christmas and a Happy New Year!
今年一年ありがとうございました。来年もよろしくお願いします！

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
営業時間 平日10:00~19:00 土曜12:00~17:00

TEL 0476-22-9333
FAX 0476-22-9334
http://www.soundhouse.co.jp/

目録
12月号

